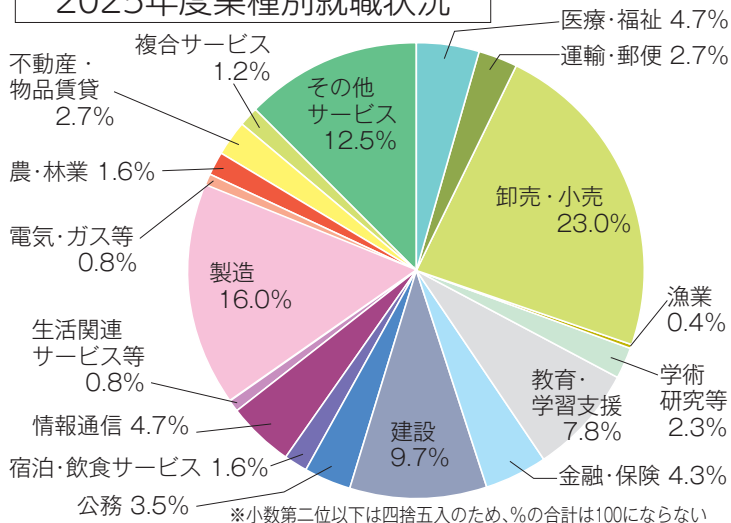


2025年度業種別就職状況



25年度就職希望者就職率

100%達成

きめ細かな就職支援実る

今春、本学を卒業した学生のうち、就職を希望した学生の就職率（就職希望者就職率）が100%を達成した。

本学では、少人数教育の特色を生かし、学生一人一人に対してきめ細かなキャリア支援を行っている。各学科には国家資格を持つキャリアコンサルタントを配置するなど、専門的なサポート体制を整えている。

近年は、就職活動の早期化に対応するため、1年次から企業理解や自己理解を深めるキャリア教育（正課授業）を実施している。就職活動が本格化する3年次には、進路ガイダンスを毎月開催し、最新の就職情報を提供するほか、模擬面接を通して実践的な対応力の向上を図っている。また、約120社の企業・団体を招いて開催する学内オンライン合同セミナーをきっかけに、内定獲得につながる学生も多い。



模擬面接の様子

また、公立学校教員採用試験では、小学校教員の合格率が初めて100%を達成し、8人の卒業生が今春から教壇に立っている。さらに、中学校教員についても6人が公立学校教員採用試験に合格した。

「石巻防災カルタ」授業に活用

小学校教師の高橋さん（令8人間）

高橋幸佳さん（令8人間）は、子どもの頃から憧れていた教職の道に進み、4月から岩手県久慈市で小学3年生の担任を務めている。

本学在学中、横江信一ゼミに所属し、ゼミ生6人で「石巻防災カルタ」を制作した。楽しみながら防災について学べる学習ツールで、高橋さんは現在、総合的な学習の時間のなかで、カルタを活用した防災教育を実践している。

体験した児童からは「震災の大変さを具体的に理解することができた」「災害のときにどのように行動したらよいか分かった」などの感想があった。6月25日、岩手県沖を震源とする地震が発生し、久慈市も震度5弱を観測した。このとき、高橋さんは、防災カルタで学んだことを生かして行動する子どもたちの姿を目にし、学びがしっかりと身についていることを実感したと話している。



防災について授業する高橋さん

フィールドワークで石巻市街の特徴知る

人間学部 総合英語演習Ⅰ



フィールドワークを終え、街の特徴を話し合う学生たち

人間文化学科の阿部純特任講師が担当する「総合英語演習Ⅰ」は、英語力の向上に加え、石巻地域の理解を深め、発信するための実践的な授業を行っている。学科間ジョイント・プログラムの対象科目で、人間教育学科の学生も受講できる。

6月11日は、石巻市内でフィールドワークを実施した。学生たちは、元気いちは周辺の文化施設や建物にあるピクトグラム、マンガロードに設置されたモニメントなどを観察し、街の特徴について理解を深めた。対象地域にある飲食店を訪れ、石巻ならではの「食」を楽しむとともに、英語でのポスター発表に向けて店舗や料理について丁寧なメモを取っていた。

フィールドワーク後は、石巻専修大学まちなか交流拠点に移動し、街歩きや店舗訪問を通じて気づいたことを話し合った。

丹野伶依さん（2年次・飛鳥未来きずな高）は授業を振り返り「マンガキヤクターのオブジェ、震災の被害が分かる建物や到達した津波の高さを示す標識などを数多く目にした。街の特徴を知ることができ、とても新鮮だった」と話した。

オムライス作りに挑戦



高野さん（左）の指導を受けながら調理する学生

初の料理教室

学生支援と地域住民との交流を目的とした初の料理教室が6月11日、石巻専修大学まちなか交流拠点で行われた。元石巻

学生支援と地域住民との交流を目的とした初の料理教室が6月11日、石巻専修大学まちなか交流拠点で行われた。元石巻から指導を受けながら調理する学生

グラントホテル総料理長で、現在は石巻市内で洋食店を営む高野亮さんを講師に迎え、1人暮らしの学生ら5人がオムライス作りに挑戦した。学生たちは、高野さんから指導を受けながら調理する学生

コバルト・レ女川の試合運営に協力

宮城県女川町を中心に石巻圏域で活動する社会人サッカーチーム「コバルト・レ女川」のホームゲームが6月14日、WACK女川スタジアムで開かれ、本学の複数の団体・サークルが運営に協力した。

当日は情報系学生有志によるドリンク販売や漫画研究会によるボディーパーイントなど多彩な企画を実施。来場者との交流が生まれ、会場は笑顔とにぎわいに包まれていた。

図書館ボランティア「LOVER」は、絵本に合わせた体を動かしたり、歌を歌ったりする子ども向けイベントを行った。最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちも、学生たちが優しく声をかけながら手本を見せると、楽しそうにまねをして体を動かしていた。

学生たちは試合の応援にも参加し、観客とともにチームを後押し。スタジアム全体が一体となる熱気あふれる一日となった。



ボディーパーイントを描く漫画研究会

ドリンク販売に汗を流した森谷流星さん（理工3・山形県寒河江工業高）は、「地域の方々との交流する楽しさや、協力して活動することの大切さを学んだ」、漫画研究会の永洞小雪さん（人間3・岩手県専修大学北上高）は、「イラスト練習の成果を発揮でき、活動の幅を広げる貴重な経験になった」と感想を述べた。

本学は2025年5月、コバルト・レ女川を運営する株式会社コバルト・レと連携協定を締結。互いの強みを生かし、地域活性化やスポーツ振興に取り組んでいる。今回のイベント協力もその一環で実現した。

理工学部 石巻専修大学、生まれ変わる



創造工学科 × 生物科学科

石巻専修大学公式「ISUMムービー」では、学部での学びやサークル活動などを動画で紹介。2027年4月に生まれ変わる理工学部の魅力を2人の在学生のリアルな声で届けている。視聴はコチラから▶

